

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 4月28日

事業所名 ブロッサムジュニア上越春日新田教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	0	0	・広く使うエリアとパーテーションを活用するエリアを設定しています。	・県の指定基準以上のスペースを確保しています。 ・子どもたちの動線に沿って部屋を配置しています。療育内容に応じて部屋を使い分ける、公共施設を借用する等対応しています。
	2	職員の配置数は適切である	0	3	1	0	・他の教室から応援体制を取り、必要な人員配置を行っています。	・県の指定基準以上の職員を配置し、専門職員(臨床心理士・公認心理師、保育士)の配置も果たしています。 ・他教室と連携し、応援体制を整えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	1	0	・階段はあるが過ごしやすい空間になっています。	・建物の構造上の問題(階段や段差等)があるため、階段に滑り止めテープを貼る、階段の昇降は必ず職員がつく等の工夫をしています。今後ご意見を聞いたり、子どもたちの様子を確認しながら、安心、安全に利用できるように、適宜、環境調整を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	1	0	1	・業務の引継ぎを毎朝行い、前日の振り返りや改善に努めている。	・朝のミーティング時に療育内容について打ち合わせをしています。また、記録を取り、職員間で共通理解できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2	0	1		・朝のミーティング時に療育内容について打ち合わせをしています。また、記録を取り、職員間で共通理解できるようにしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	2	1	1		・今回初めての自己評価を行ったので、今後に活かしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	1	0		・指摘された改善項目は、適宜改善していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	1	1	1	・上半期はLITALICO研修動画を活用し、定期的に研修を行いました。	・イベントごとにもアンケートを行うようにし、いただいたご意見を、今年度から提示していきます。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0	1		・集計後には、おたよりで公開し、今年度から第三者評価機関に依頼します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	1	2	0	1		・今回初めての自己評価を行ったので、今年度から第三者評価機関に依頼します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	0	0		・再度、研修の日時を設定し定期的に研修を行います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	0	・活動にねらいをもとに立案しています。	・本社のアドバイザーによる研修の機会を設けます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	0	0		・今後も継続していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0	0	・利用者の状況にあった個別支援をしています。	・当事業所の臨床心理士・公認心理師、保育士等の専門性を集結し、立案しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	1	0	・朝のミーティング時に打ち合わせを行っています。	・ホワイトボードに役割分担を記載し、視覚的にも把握できるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	0	0		・支援終了後は、記録の記入や事業所内の清掃・消毒を優先してしまい、打ち合わせができない日もありました。 ・可能な限り打ち合わせを行い、できなかったときには記録で周知をします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	0	0	・支援記録を毎回記入しています。	・職員会議で記録の確認・検証を行い、改善しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1	0	1		・最低でも半年に一回はモニタリングを行っています。 ・子どもの誕生月には職員会議で振り返りも行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	1	1	1	0		・ガイドラインに準じ支援計画を作成しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	0	1	0		・児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	0	0		・特別支援学校から毎月いただく「行事予定表」により、行事予定が把握できています。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	0	0		・保育園、幼稚園とは、情報の共有や必要な場合は連携会議を行います。また、相互理解に努めています。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	0	0	2		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	1	0	・子ども発達支援センター専門職員に療育を見て頂き、助言をして貰っています。	
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1	2	1		・今のところ、参画の依頼はきていません。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	1	0	・送迎の際利用状況を伝えていきます。	・保護者とは、お迎え時、電話、メール等で利用時の状況や課題について随時連絡を取り合っています。
保護者への説明責任等	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	2	1	1		・今後ペアレント・トレーニングの支援が出来るよう職員研修を目標としていきます。
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	0	0	・契約時に管理者より説明しています。	・利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	0	0	・職員全員で子育ての悩みに対応するようにしています。	・療育を見に来られた時やお迎え時に保護者から悩みや課題のご相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えしています。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	0	0	・保護者にはいつでもお伝えして頂けるように契約時や口頭でお伝えしています。	・苦情に対しては、真摯に受け止め、業所内で迅速に対応させていただき、改善に努めています。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	0	1	1	・玄関に掲示しています。	・定期的に会報を発行し近じかの情報をお伝えしています。
	32	個人情報に十分注意している	2	1	0	1	・契約時に管理者より説明しています。	・個人情報については厳重に管理しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	1	0	1		・子どもたちには絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。
	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	2	1	1		・現在マニュアル計画作成をしています。保護者や職員に伝わりやすい工夫をします。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	0	2	1	・階段利用後を想定した避難訓練を実施しています。	・お子さんの状況に応じた対応ができるようにします。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	2	1	・ZOOM等でアドバイザーから研修を受講しています。	・虐待防止のテーマを職員研修で実施していきます。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	1	1	1	・クールダウンが出来る空間を確保しています。	・クールダウンが必要な時は状況に応じ職員がマンツーマンで対応しています。このような場合があることを保護者に説明し、支援計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	1	1	2		・現在は医師の指示書に基づくアレルギーケアを必要とする子どもはおりません。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	0	1	・いつでも閲覧できる場所に保管しています。	・報告書を作成し、速やかに閲覧しています。